

神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「古典詰将棋」です。江戸時代、特に草創期は誤行錯誤の時代でした。詰将棋という新種のパズルを前にした古人の状況は、新種の変則ルールを前にした現代人と同じです。そこで今回は古典詰将棋と変則詰将棋の共通性に焦点を当てました。各作品にそのモチーフとなった古典作品を示しましたので、古典とフェアリーの繋がりを感じてください。

【ルール説明】

【中立駒】どちらの手番でも動かせる駒。(横向きの字「駒」か、横にnを付加して「駒」と表記)

(細則)

(1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる。

(2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる。

(3) 中立駒はどちらの手番でも取るこ
とができ、持駒になる。

(4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。
相手側の駒や中立駒は取れる。

(5) 二歩禁が適用される。

(6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
(7) 中立駒でも自玉への王手は反則。

【駒余り可】最後に攻方持駒が余つても良い。

【背面】敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

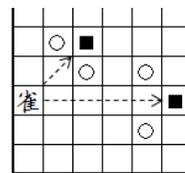
【打歩】打歩詰以外の詰手を失敗とする(単純打歩)。

【最善自殺詰】攻方は最短で自玉を詰め、受方はなるべくそれを妨げる。

【成禁】手順中に成る手があつてはならない。「詰」や「王手」の概念は通常通り。

【Sparrow】(雀)フェアリーチェスの駒。飛または角の利きの方向にある

駒に到達した後、進行方向に対し
度曲がった場所に着地する。



(○が雀の利き。
■は敵または味
方の駒。)

【出題作についての補足】

① 象戯造物1番。この作は成れない中立駒を使っており、中立駒の細則(2)の適用外です。中立駒の詳細や例題は前回の「氾濫」をご覧ください。

② 象戯造物4番。こちらは普通に成れる中立駒を使っています。受方持駒も中立駒であることをお忘れなく。詰上り攻方持駒が余つても構いません。

③ 将棋無双15番+将棋図巧99番。

④ 将棋図巧55番。ばか自殺詰ではないので受方は協力しません。攻方最短・受方最長順のみが正解です。

⑤ 将棋勇略35番+将棋図巧57番。

懸賞

▼締切 6月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記アドレスへ

E-mail: k7ro.ts@gmail.com

メール解答の際は件名に「解答」の語句を入れてください。

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

③神無三郎

背面打歩ばか自殺詰 16手

									王	一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 歩

④神無七郎

最善自殺詰 22手

										一
										二
										三
										四
									飛	五
									王	六
									王	七
									角	八
									香と角と	九

持駒 金4銀3歩

①神無太郎

ばか詰 9手

										一
									王	二
									桂	三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし
※玉以外はすべて成れない中立駒

⑤神無七郎

成禁ばか詰 61手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※雀:Sparrow

②神無太郎

ばか詰 11手 (駒余り可)

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし
※玉以外すべて中立駒